

和歌山だよいい

平成22年 2月号



湯の峰温泉 (田辺市)
右下：つぼ湯

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P7
3. お知らせ…………… P8～P11
4. ふるさと歳時記…………… P12



モクレン

「勝者の寛容」

また、塩野七生さんの「ローマ人の物語」から話を引きます。ローマがあのよう^に長期に国勢を保ち得たのは、戦争に勝ったローマが敗者の側を迫害することなくローマに迎え入れ、同化させていったためであるというのが塩野さんの分析です。これを「勝者の寛容」と言います。

人間世界には、戦争に限らず、さまざまな意見、利益の対立があります。現代社会は、このような対立を合理的に終わらせるように、選挙とか、投票とかさまざまな工夫・方法を発達させてきました。スポーツや文化の世界でも競争が進歩や向上に結びつくようにさまざまなコンテスト、選手権、競技会などがあります。

しかし、スポーツや文化の世界では戦い済んで日が暮れたなら、お互いの健闘を讃^{たた}え合う姿が大概は見られるのに、政治や選挙の場合は、どうもそうでもないことが多いようです。勝った方は、かきにかかって負けた方をたたきに行き、負けた方は、またそれをくつがえそうとすることもままあります。そうすると戦いは永久に続きます。最近の国政などを見ていますと、まだ対立図式だけで世の中が動いている感じもします。勝者が敗者をたたきつぶしに行ったら、敗者の側の恨みが募ります。昔の戦争と違って、敗者を本当に根絶することなどできないのですから、いつか仕返ししてやるぞという人々を増やすことは得策ではないと思います。また、この恨みは、社会の中に残って、社会全体が力を合わせて前に進もうという動きを阻害します。また、いつまでも続く対立の中で、弱い人々、弱い地域が翻弄^{ほんろう}されるのです。やはり、ここは勝者はまず寛容の精神を持って行動を律するべきではないでしょうか。それによって一時の敵も同化できるのではないのでしょうか。

政党対政党の争いはともかく、この和歌山に関する限り、すべての人がそうであってほしいと思うし、少なくとも自分は、引き続きそのように行動していきたいと思います。



「ヴァンフォーレ甲府」歓迎セレモニーでの仁坂知事。選手、ジュニア選手とともに

今月の和歌山県政トピックス

*最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●「平成22年近畿連合和歌山県人会新年互礼会」開催



- ・1月24日、「平成22年近畿連合和歌山県人会新年互礼会」が京都市の「平安会館」において、京都・大阪・堺・神戸・西宮の各県人会の会員約70名が出席し、盛大に開催されました。
- ・近畿連合和歌山県人会代表理事である松井京都和歌山県人会の開会挨拶の後、仁坂知事、山田京都府知事、門川京都市長、越後京都ふるさとの集い連合副会長が祝辞を行いました。
- ・引き続き行われた懇親会では、故郷和歌山のなつかしいお話で交流を深めたり、「和歌山ブルース」を全員で合唱するなど、楽しいひとときとなりました。

●4月から南紀白浜～羽田路線に「特便割引3」導入

・日本航空は、4月～5月搭乗分に、搭乗日の3日前まで予約・購入可能「特便割引3」の設定し、販売を開始します。ビジネスや急な旅行がより便利になります。

- ① 料金 「特便割引3」 17,500円
「大人普通」 29,000円
(羽田空港旅客施設使用料別途100円必要)
- ② 設定期間 「4/1～4/30」 「5/6～5/31」
南紀白浜～羽田便(全便)
- ③ 販売開始 平成22年2月1日～
* (参考) 時刻表(4/1～5/31)

東京 →	南紀白浜	→	東京
08:45	10:05	10:45	11:45
13:10	14:30	15:15	16:15
17:05	18:25	18:55	19:55

● 「修学旅行セミナー」開催

● 「2010体験・学び・感動の修学旅行セミナー」仁坂知事がトップセールス
～和歌山県「ほんまもん体験」の修学旅行～

● 和歌山県体験型教育旅行誘致協議会が発足

・1月29日、東京（ホテルメトロポリタンエドモンド）で和歌山県「ほんまもん体験」の修学旅行のトップセールスを行いました。旅行会社・学校教員等約100名を前に、仁坂知事は「和歌山はこういうところか」「魅力一杯の感動体験」「豊富な観光資源」「子どもたちには体験が必要」「私たちの修学旅行支援態勢」などの項目について説明し、「今の子どもたちは、仮想の世界に入り過ぎているのではないか、本当のふれあいが必要なのではないか。海、川、山と自然豊かな和歌山県で感動体験をしてほしい、そのために県はワンストップで修学旅行の準備をお手伝いする。」と話しました。



・続いて、平成20年に修学旅行で来県した埼玉県川口市立川口総合高等学校の荒井教諭から和歌山県での事例発表、さらに「ほんまもん体験」の魅力紹介として、「大好き日置川の会」の奥山会長が白浜町日置川地域での体験の魅力や心温まる民泊体験について説明しました。

・また、同日、「和歌山県体験型教育旅行誘致協議会」を組織しました。今後、全県を挙げてさらに積極的に修学旅行誘致活動を展開していきます。

「ほんまもん体験」を活用した修学旅行での来県校数

年 度	17	18	19	20	21
来県校数	1	5	5	13	15

※ 和歌山県体験型教育旅行誘致協議会

構成員：和歌山県観光連盟及び県内各教育旅行誘致組織

（県内各教育旅行誘致組織）

日高町体験型旅行誘致委員会、みなべ町教育旅行誘致委員会、白浜町教育旅行誘致協議会、串本町教育旅行誘致協議会、那智勝浦町教育旅行誘致協議会

●わがまち元気プロジェクト 第4弾！！

・地域資源を活用したまちおこしに積極的に取り組む市町村を支援する「わがまち元気プロジェクト」の6番目として、「“みなべの梅”底上戦略の推進」への支援を決定しました。

・梅を加工した取組は、本県における「農商工連携の元祖」といったもので地域が活性化したモデルでもありますが、梅の消費拡大に向けては、特に若もの世代への効果的な取組が課題となっています。

・そこで、若者を「みなべの梅」に結びつける取組として、若者の嗜好やアイデアを活かし、コンビニ向けの携帯用種なし梅干しといったデザート感覚の新商品の開発を行うとともに、ロッテの「小梅ちゃん」キャラクターを活用した共同販売の実施等、若者向けに特化した販売戦略を展開し、梅の新たな需要の開拓に取り組みます。



若者の嗜好とアイデアを活かした新商品づくり

●「第4回わかやま産品商談会 in 大阪」開催

・県内で農林水産業に従事している方や食品製造業に従事している方の販路開拓を支援するため、和歌山県内の農水産物生産者と加工食品事業者（66事業者）が、2月16日に大阪マーチャンダイズ・マートにおいて、食品製造業界、食品流通業界、外食業界などの商品仕入担当者（バイヤー）に向け、販路拡大のための商談を行います。

・今回の商談会では、和歌山県立和歌山商業高等学校の2年生が、出展者とともに商談を行うとともに、受付やPRコーナーの運営などにも参加します。

・また、「わかやまフーズコーナー」では、和歌山生まれのイチゴの新品種「まりひめ」を使ったご当地スイーツ「わかやまポンチ」などを披露します。「わかやまラッピングコーナー」では、和歌山の旬の柑橘類やミニトマト、梅酒、梅干しなどをラッピングして、ひと味違った商品のかわいい見せ方を来場者と出展者に提案し、バイヤーの意見をもらいながら、今後の商品開発のヒントなどにします。そして「プレミアム和歌山PRコーナー」では、商品やパネルを展示しながら参加バイヤーに大いにアピールします。



出展者と意見を交わす仁坂知事【前回】

●「阪和道 和歌山北IC」が3月14日に開通！

- ・3月14日、和歌山ICから北側約2kmの地点に、和歌山北ICが開通します。
- ・このICの完成により、和歌山市北部の利便性はもとより、和歌山市北東部の核となる地域づくりを目指して企業誘致等を進めてきた直川地区や紀の川沿いに進められている既存開発を促進し、産業の発展や雇用の創出が期待されます。また、和歌山北ICに隣接する和歌山市の企業誘致用地には、募集開始から1ヶ月あまりで11社の企業進出が決定し、その総雇用予定者数は977人（うち新規雇用者数210人）となる見込みです。



※ 和歌山北ICは大阪方面（北向き）のハーフインターです。

●平成21年度第5回和歌山県親と子のためのきらめき“夢”トーク開催

- ・2月7日、田辺市において、岩倉信弥氏（多摩美術大学理事・教授）を迎え、「和歌山県親と子のためのきらめき“夢”トーク」を開催しました。
- ・岩倉さんは、和歌山市出身で、多摩美術大学を卒業後、本田技研工業(株)に入社。自動車のデザイナーとして、シビックやアコード、オデッセイなどのデザインを担当されました。全国発明表彰・通産大臣賞受賞、カー・オブ・ザ・イヤー大賞受賞、イタリアピアモンテデザイン大賞受賞など多数受賞され、日本の自動車デザイン界の第一人者として活躍されています。
- ・今回は、「夢に向かって」というテーマで、10年後、50年後の自分の像を「想う」こと、イメージすること、自分がこうなりたいと思い描くことが大切であると、そして、自らの経験に基づいた、夢に向かう素晴らしさを話されました。

● サッカーJ2「ヴァンフォーレ甲府」が紀三井寺陸上競技場でキャンプ

・県では、スポーツ及び観光振興、地域活性化を図るため、これまでトップレベルチームの「スポーツ合宿」の誘致を推進しています。この度、サッカーJ2リーグに所属する「ヴァンフォーレ甲府」が、本県の温暖な気候とピッチ（芝）のコンディションを高く評価され、1月18日～29日まで、紀三井寺運動公園陸上競技場（和歌山市）に第1次キャンプに訪れました。



・23日には、仁坂知事が選手と関係者を訪問し、「ジビエ」料理で知られる地元で捕獲された『イノシン』の肉と、「プレミア和歌山」の『大師の水』を送り、歓迎しました。

・また、24日には選手やコーチらによる、県内U-15トレセンの中学生などを対象とした「サッカークリニック」や、ヴァンフォーレ甲府の海野一幸社長による、地元クラブ関係者や指導者を対象とした「講演会」が開催されました。

・キャンプ期間中は日本のトップレベル選手の練習を間近で観戦できるとあって、県内のジュニア競技者やサッカー関係者、サッカーファンら多くの観客が競技場に詰めかけました。

● 全国都道府県対抗駅伝競争大会

・全国都道府県対抗駅伝競争大会が、女子は1月17日に京都府、男子は1月24日に広島県で開催されました。

・女子は、中学生から社会人までの9名が出場。京都和歌山県人会の皆さんの熱心な応援を受け、郷土の代表として心一つに30位以内を目指して頑張りましたが、結果は46位となりました。

・男子は、中学生から社会人までの7名が出場。第3区の浜野選手（日高高校出身）が区間6位の成績で、一時9位まで順位を追い上げる健闘をしましたが、結果は29位で歴代2番目の成績となりました。

・県では、6年後開催予定の第70回和歌山国体に向けて県を挙げて気運を盛り上げていくとともに、引き続き競技選手の発掘・育成・強化に取り組んでいきます。



京都和歌山県人会の皆さんには、女子駅伝の応援をいただいております。

● 春の選抜甲子園に「智辯学園和歌山高等学校」と「県立向陽高等学校」が出場決定！！ 和歌山県から2校センバツに出場するのは14年ぶり！

・第82回全国選抜高校野球大会に智辯学園和歌山高等学校と21世紀枠で県立向陽高等学校の出場が決定しました。智辯学園は2年ぶり9回目、向陽は36年ぶり15回目の出場です。向陽高校は、戦前の旧制海草中時代に夏の甲子園で連覇を遂げた伝統校。昭和14年の夏には、嶋清一投手が準決勝決勝をノーヒットノーラン、5試合連続完封という快挙を成し遂げています。一方、智辯学園は夏2回春1回の優勝を誇る甲子園の強豪校。和歌山県から2校が揃ってセンバツ高校野球大会に出場するのは14年ぶりのことです。

・今回の組み合わせ抽選会は3月13日に行われ、大会は3月21日から阪神甲子園球場で開催されます。皆様も大いに期待してご声援下さい。



智辯学園ナイン（毎日新聞社提供）



向陽高校ナイン（毎日新聞社提供）

● 景気対応緊急保証制度を活用した中小企業向け県融資制度の新設・拡充

・現在の厳しい経済情勢を乗り切るため、国の第2次補正予算に盛り込まれた「景気対応緊急保証制度」を最大限活用し、例外業種を除いて原則全業種の中小企業者が利用可能となる新たな県融資制度を創設しました。また、従来の運転資金に加え、新たに設備資金を資金使途に加えることにより、将来の景気回復期に向けての設備投資促進の動機付けを行い、年度末から新年度にかけての「当面の資金繰り」と「競争力・成長力の強化」の双方について県内中小企業者を資金面から支援することとしました。

○ 融資対象の拡大

景気対応緊急保証制度の創設と合わせ、対象を現行の793業種から、新たに医療・介護、ニッチ（隙間）産業などにも利用対象を拡大し、法令上の例外業種（※）を除いて原則全業種を対象に ※例外業種＝農林漁業、金融・証券、一部風営法関係業種等

認定基準についても、売上比較を現行の前年同期比から2年前との比較要件を追加し、業況低迷の長期化に配慮

○ 経営支援資金（景気対応緊急枠）を新設

資金使途に設備資金を追加

融資限度額を8,000万円以内に（3,000万円拡大）

信用保証料を0.6%に（0.1%引き下げ）

○ 資金繰り安定資金（景気対応緊急枠）への衣替（拡充）

「据置なし」から「据置期間2年以内」に

○ 実施期間：平成22年2月15日～平成23年3月31日

まりがじり わかやま

和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

人気急上昇！ わかやまのオリジナルいちご 「まりひめ」



納得のいく出来映えと、笑顔で話す生産者の長谷川さん。



コロんとしたかわいいいちご。

～地元でも話題のいちご「まりひめ」～

「まりひめ」は、「^{あきひめ}章姫」♀×「さちのか」♂の組み合わせから誕生した和歌山県のオリジナル品種で、平成20年3月に品種登録を出願した新しいいちごです。

名前は「まりひめ」。県の伝統工芸品「紀州てまり」にちなむとともに、皆様に愛されるよう名づけられました。

このいちごは大粒で丸みがあり、艶やか、果実はほどよい歯触りで、香りも良く、さわやかな酸味とジューシーな甘さがベストマッチ。11月の早い時期から出回り、収穫量が多い頼もしいいちごです。

昨年末から本格的に販売が始まりましたが、早くも和歌山で人気No.1！愛されいちご「まりひめ」をぜひよろしく！



自慢はこのツヤ！

～いちご作り、フランド産地には負けません～

和歌山県の北部、那賀地域は県下最大のいちごの産地。

年が明けると、次々に真っ赤に実るいちごの収穫に生産者達は忙しの毎日です。デリケートな果実を丁寧に摘み、果実を傷めないようパックに盛って箱詰めします。

天候や栽培管理により品質への影響が大きく、生産者は日々試行錯誤。いちごを作りこなすため、努力は惜しまないのです。



～いちごの町へようこそ～

紀の川市貴志川町は、古くからいちご栽培のさかんな町。町のあらゆる所にいちごがあって、なんと電車までいちごなんです。わかやま電鉄スーパー駅長「たま」で有名な電車と言えばご存じの方も多はず。

観光いちご園もあって、乗るもよし、食べるもよし、貴志川町でいちごを満喫しませんか？



いちご自転車レンタサイクル



わかやま電鉄いちご電車

Designed by Eiji Mitooka+Don Design Associates



いちごワイン

～春のわかやまポンチはいちご～

フルーツ王国和歌山ならではのご当地スイーツ「わかやまポンチ」の春バージョン「わかやまポンチ春フェスタ2010」が県下10店舗で開催中！（2月20日まで）今回はいちごの入ったオリジナルポンチが登場、「まりひめ」にも出会えるよ！

フェスタ参加店

- ① サウスウエストカフェ ② フレグランス ③ パスワード
- ④ ダイニング ミュウ ⑤ カテリーナ ⑥ ニイハオ黒田店
- ⑦ 三八波（以上和歌山市）⑧ ニイハオ岩出店（岩出市）
- ⑨ カフェしおん（紀の川市）⑩ カフェ・ド・マンマ（みなべ町）



春ポンチは今だけ！

わかやまポンチとは → <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/ponchi/wakapon.html>

3月開催「和歌山県世界遺産公演」の内容が決定！！

皆さん、是非お越し下さい。（「早春わかやま宿泊得々キャンペーン」で応援します。）

・世界遺産登録5周年を記念して実施している「和歌山県世界遺産公演」のうち、3月に開催する公演の内容が決定しました。3月22日には那智の田楽と人形浄瑠璃文楽の特別公演を、また3月27日には渡辺貞夫さんを大斎原に、3月28日には谷村新司さんを高野山に迎えて、コンサートを行います。

Part III

「那智の田楽＋人形浄瑠璃文楽特別公演」

- <日時> 平成22年3月22日（月・振替休日）13：00開演
- <場所> 那智勝浦町体育文化会館
- <出演> 那智田楽保存会
財団法人文楽協会

Part IV

「～渡辺貞夫とこどもたち～ Share the World in Kumano …こころつないで…」♪♪

- <日時> 平成22年3月27日（土）14：00開演
- <場所> 熊野本宮大社旧社地 大斎原
- <出演> 渡辺貞夫グループ エスコージャフロ
和歌山県立田辺高等学校・中学校合唱部
奥熊野太鼓



Part V

「谷村新司ネイチャーライブ&南山進流声明」

- <日時> 平成22年3月28日（日）17：30開演
- <場所> 高野山壇上伽藍 根本大塔前特設会場
- <出演> 谷村新司ほか



「お問い合わせ先」

Part III・Part IV：県教育委員会文化遺産課 電話 073-441-3730(直通)

Part V：県庁文化国際課 電話 073-441-2050(直通)

「県内イベント情報」

●那智勝浦温泉 町並み博覧会 (3月1日～3月31日)

「那智勝浦温泉・町並み博覧会」は、町全体を「屋根のない博覧会場」と位置づけ、豊かな自然や文化に囲まれた那智勝浦町を体験してもらおうイベントとして、去年から開催されています。「観光資源としての住民参加」をコンセプトの核心メニューに決定。那智勝浦町と周辺の太地町・新宮市3市町にまたがる「食物語」「海物語」「ウオーク」「文化」の4分野27メニューを決定しました。



27メニューのうち5つをご紹介します！

- 見て、感じて！活気あふれる魚市場見学ツアー
…生マグロ水揚げ日本一の那智勝浦町。仲買人さんだけが入れる魚市場の中に入ることができます。
- 調理体験パワフルな漁師女将が作る郷土料理「おまぜごはん」
…漁師町のお祭り料理「おまぜ」。勝浦の伝統の味を味わってください。
- 世界遺産 平安衣装で歩く熊野古道
…熊野古道「大門坂」の杉木立を、時代衣装をまとい散策します。
- 辻原登「許されざる者」の町 森宮・文学散歩
…物語の舞台となった森宮（新宮）をガイドの説明を聞きながら歩きます。
- ハッピードルフィン（スイム）
…遊び好きなイルカたちと自由に泳ぐことができます。泳ぎが苦手な方もスタッフがサポートするので安心。



「見て、感じて！活気あふれる魚市場見学ツアー」

【日時】 3月1日（月）～31日（水）

【場所】 那智勝浦町・新宮市・太地町
(各体験メニューに集合場所あり)【問い合わせ先】 那智勝浦町観光協会
TEL：0735-52-5311

●雛流し (3月3日)

・和歌山市加太の淡嶋神社で行われる「雛流し」は、3月3日雛祭りの日の風物詩として有名です。

・そもそも、雛人形の男ひなと女ひなの始まりは、淡嶋神社の祭神である少彦名命と神功皇后の男女一対の神像だとされています。また、雛祭りが3月3日になったのは、もともと対岸の友ヶ島（当時は淡嶋と呼ばれていました）にあった社を加太に遷宮した日が、仁徳天皇5年3月3日であったことから。「雛祭り」の語源も、スクナヒコナ祭が簡略化してヒナ祭とされるようになったとされています。

・当日は、全国各地から奉納された雛人形を3隻の白木の小船にせ、宮司のお祓いの後、海に流します。白木の小舟は先導する舟引かれ、宮司、巫女、そして多くの参拝者が見送るなか、沖へ沖と流されていきます。

・昨年は全国各地から約7000人の方が参加されました。

【日時】 3月3日（水） 12時～

【場所】 淡嶋神社（和歌山市加太116）

【問い合わせ先】 淡嶋神社社務所 TEL：073-459-0043



～ 田辺市が誇る偉人（南方熊楠・植芝盛平・武蔵坊弁慶） ～

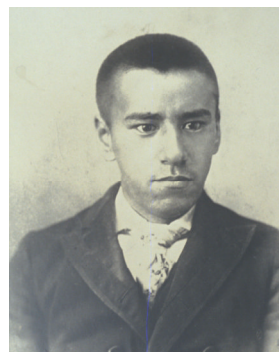
田辺市は、田辺市、龍神村、中辺路町、大塔村、本宮町が平成17年5月に合併して誕生しました。広い面積を有し、多くの観光地などがあるため、田辺市のふるさと歳時記、第1回目として、今回は、偉人を紹介します。

南方熊楠

・「日本人の可能性の極限」と賞賛された南方熊楠。慶応3年4月、和歌山城下に生まれた熊楠は、学校よりも山で植物の採集に夢中になっている少年で、数日行方不明にもなりなり、天狗にさらわれたと噂され、「てんぎゃん」（天狗さん）と呼ばれていたと言います。

和歌山中学校卒業後、上京、東京大学予備門に入学しますが、満たされず退学。20才で渡米、26才でロンドンに渡り、動植物の実地調査や研究に没頭しました。34才で帰国。熊野の山々の調査をし、37才から田辺に住みます。終の栖、南方熊楠邸は、49才の時構えました。そこに設置された南方植物研究所で中国の孫文や柳田国男など多くの学者と交流。ミナカテルラ・ロンギフィラ（南方の長い糸）という新種の粘菌を発見したり、昭和天皇が神島にお越しになった際には、百十点余りの粘菌の標本をキャラメル箱に入れて御進献したりしました。

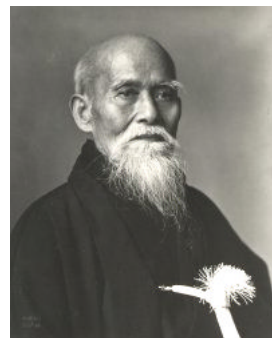
中央学会から離れて活動していた熊楠は、長く伝説的存在でした、没後50周年を経て、ようやくその真価が認められつつあります。



植芝盛平

・合気道の創始者植芝盛平。田辺市元町に生まれ、幼い頃から武道にはげみ、19歳で修行の旅に出て、独自の武術を習得。『合気道』と名付けました。（1922年）

体を鍛え、技を磨くことによって気と心を鍛え、真の和を求めようとする合気精神「天地人和合の道」。敵をやぶる術ではなくて、相手と相和して切磋琢磨をはかり自己の人格完成を目指す武道。世界を和合せ人類を一家にしていく。合気道はそういう武道だと翁は述べています。



武蔵坊弁慶

・「勸進帳」「船弁慶」など、歌舞伎や人形浄瑠璃などでも有名な弁慶。伝説上の人物とされ、出生地には、数々の説がありますが、「義経記」の記述から、田辺が最も有力であると考えられます。熊野別当家の嫡子で、比叡山で修行の後、自ら名付けたのが「西塔武蔵坊弁慶」という名。寺を焼いてしまい、建て直すために釘を作ろうとして刀を集めている時、義経と出会い主従に。生涯忠義を尽くしました。

誕生を記念して植えられたという弁慶松も現在6代目、田辺市舎前にあり、JR紀伊田辺駅前の広場には弁慶像が。毎月第3日曜日には、鬨けい神社前で催される約80店の露店のある弁慶市が人気です。

田辺市ホームページ <http://www.city.tanabe.lg.jp/>

～編集後記～

立春も過ぎ、季節の上では春を迎えています、まだまだ寒い日が続いております。皆様方には、いかがお過ごしでしょうか。

和歌山は今、梅見シーズンの真っ盛りです。梅の香りは、古の時代から多くの人々に愛され、和歌に詠まれるほど日本人に好まれてきました。

この度、和歌山県工業技術センターと和歌山県果樹試験場うめ研究所、花王（株）の3者により、①梅の開花時間による香気測定（朝、昼、夜）②梅の品種の違いによる香気量と成分について解析が行われました。その結果、和歌山が誇る梅の優良種「南高梅」の香りは他の梅の品種に比べて香りが高いこと。また、「南高梅」の完全開花直後の朝が最も香気量が多いことが解ったということです。

この研究成果が今後色々な分野に応用されて、日本国中ひいては世界中で和歌山の「南高梅」の香りを楽しんでいただけたら嬉しいと思います。

また、和歌山には温泉地が至る所にあります。白浜温泉や那智勝浦温泉、龍神温泉など枚挙にいとまがないほどです。海の幸も旬の時期ですし、温泉にゆっくり浸かって、翌朝、香り一杯の梅見に出かけてみてはいかがでしょうか。

皆様のお住まいの地域にも、そろそろ春の足音が聞こえてくることと思います。皆さんお元気でお過ごし下さい。

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願ひします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2010年（平成22年）2月 NO.23

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022